平成20年度

# 秋田市遺跡確認調査報告書

2009.3　秋田市教育委員会

# 序

本書は、平成20年２月から平成21年２月までに実施した市内の遺跡確認調査報告書です。

埋蔵文化財は、地域の歴史や文化を解明し、私たちの文化の変遷を理解するための貴重な文化財のひとつであり、大切な文化遺産として将来に継承していく必要があります。

そこで、宅地開発などの開発事業から、これら埋蔵文化財を保護することが重要であり、遺跡確認調査はその調整を図るための基礎資料となるものです。

平成20年３月に実施した手形中台地区の調査では、縄文時代中期末の「中台遺跡」が発見され、新たな遺跡として登録されました。これで、秋田市の遺跡は514箇所となりました。

本報告書は、その調査結果をまとめたものであり、文化財保護活動の啓発と普及、並びに学術研究のために活用していただければ幸いに存じます。

刊行にあたり、調査にご協力いただきました関係各位に感謝申し上げますとともに、今後も埋蔵文化財の保護につきまして、ご理解、ご指導いただきますようお願い申し上げます。

平成21年３月

秋田市教育委員会

教育長　髙 橋 健 一

# 例　　言

1　本報告書は、平成20年２月から21年２月まで秋田市内に所在する遺跡および遺跡存在可能性地において、開発事業などに伴って実施した遺跡確認調査報告書である。
2　遺跡確認調査は、秋田市教育委員会が調査主体となり、国庫補助金並びに県費補助金の交付を受けて行った。
3　調査については、秋田市教育委員会文化振興室が担当した。
4　本書の執筆は、各調査担当者が行い、鎌田が編集した。
5　出土遺物および記録類は、秋田市教育委員会が一括して保管する。
6　調査にあたって文化庁文化財部記念物課および秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室より、指導をいただいた。

# 凡　　例

1　挿図の調査位置図については、主として秋田市都市計画図、秋田県森林基本図を使用し、一部事業関係で作成した図面を使用した。
2　挿図の縮尺は不統一であり、各図ごとに縮尺・スケールを示した。また、図中の方位は、方位記号のない挿図については、上が真北を示している。
3　挿図の中には下記の記号を用いた。
　Ｔ－トレンチ、ＳＫ－土坑、ＳＤ－溝跡、ＳＫＰ－柱穴、Ｐ－ピット、ＳＸ－焼土遺構

# 調査体制

調査主体　　秋田市教育委員会
調査体制　　文化振興室
　室　　長　　石郷岡　誠　一
　参　　事　　赤　川　　衛
　室長補佐　　加　藤　隆　子
　文化財担当
　　副参事　　安　田　忠　市（調査担当）
　　主席主査　　西　谷　　隆　（調査担当）
　　主　　査　　進　藤　　靖　（調査担当）
　　主　　事　　鎌　田　英　智（調査担当）
　　主　　事　　伊　藤　才　城（調査担当）

# 目　　次

例　言

凡　例

調査体制

第１章　事 業 の 概 要 ･････････････････････････････････････････････････････ 1

第２章　調 査 の 記 録

平成19年度調査未報告分

1　秋田手形中台ＩＭＴ基地局建物設備工事 ･････････････････････････････ 5

2　ｅＭ秋田雄和椿川局新設工事 ･････････････････････････････････････ 8

3　秋田都市計画道路事業（土崎駅前線）（湊城跡） ･････････････････････ 9

平成20年度調査

4　宗教法人生長の家教化部会館新築事業（久保田城跡） ･････････････････ 12

5　秋田市新屋栗田町宅地造成工事 ･････････････････････････････････････ 13

6　秋田市長岡基地局新設事業 ･･････････････････････････････････････････ 14

7　救護施設玉葉荘改築工事（向野遺跡） ･･････････････････････････････ 15

8　秋田駅東第三地区土地区画整理事業 ･･････････････････････････････････ 17

9　新屋比内町市営住宅建替事業 ･････････････････････････････････････････ 18

10　都市計画道路秋田環状線道路新設工事 ･･････････････････････････････ 20

報告書抄録

# 第1章　事業の概要

秋田市は、秋田県のほぼ中央部、日本海に面する秋田平野に位置している。市内には、旧石器時代から近世までの遺跡が存在しており、埋蔵文化財の保護と開発事業に適切に対処するため、昭和61年から63年にかけて、国庫補助事業として市内全域の分布調査を実施している。その後、試掘・確認調査や市町合併による遺跡の追加に伴い、現在、514箇所の埋蔵文化財包蔵地が登録されている。

平成20年度は、周知の埋蔵文化財包蔵地または遺跡存在可能性地における公共事業や民間の開発事業などについて、事前の事業照会と協議、分布調査による確認を経て、詳細な把握が必要な箇所の試掘・確認調査を実施した。試掘調査を実施した箇所については、表１・第１図に示し、第２章で詳細について述べる。その他、遺跡内における土木工事については、文化財保護法第93条および第94条の手続きをとり、立会調査条件で立会調査を実施した箇所について表２に示し、試掘・確認調査を経て発掘調査を実施したものは表３に示した。また、試掘調査には至らなかったものの、事前に分布調査を実施した箇所は表４に示した。なお、本書には、平成20年２月から平成21年２月までに行った調査について掲載した。

平成21年３月以降に実施した調査については、次年度で報告する。

**表１　試掘・確認調査実施一覧表**

| No, | 事　業　名 | 遺 跡 名 | 所　在　地 | 事業主体 | 事業概要 | 調査期日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 秋田手形中台ＩＭＴ基地局建物設備工事 | | 手形字中台59番２の内 | 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ東北 | 無線基地局建設 | H20.３.６ |
| 2 | ｅＭ秋田雄和椿川局新設工事 | | 河辺戸島字北ノ沢駒坂台60番１ | イー・モバイル株式会社 | 無線基地局建設 | H20.３.14 |
| 3 | 秋田都市計画道路事業（土崎駅前線） | 湊城跡 | 土崎港中央六丁目地内 | 秋田市道路建設課 | 道路建設工事 | H20.３.18 |
| 4 | 宗教法人生長の家教化部会館新築事業 | 久保田城跡 | 千秋北の丸２番209地内 | 宗教法人生長の家秋田県教化部 | 会館建築 | H20.５.23 |
| 5 | 秋田市新屋栗田町宅地造成工事 | | 新屋栗田町217番１ほか | 株式会社プライムハウス | 宅地造成 | H20.９.18 |
| 6 | 秋田市長岡基地局新設事業 | | 下新城中野字街道端西241番128地内 | イー・モバイル株式会社 | 無線基地局建設 | H20.10.３ |
| 7 | 救護施設玉葉荘改築工事 | 向野遺跡 | 雄和向野字吹欠下16番ほか | 社会福祉法人秋田県厚生協会 | 救護施設建築 | H20.11.11～14 |
| 8 | 秋田駅東第三地区土地区画整理事業 | | 手形字山崎地内 | 秋田市 | 道路建設 | H20.12.２ |
| 9 | 新屋比内町市営住宅建替事業 | | 新屋比内町143番４ほか | 秋田市 | 市営住宅建築 | H20.12.９～16 |
| 10 | 都市計画道路秋田環状線道路新設工事 | | 楢山古川新町地内 | 秋田市 | 道路建設 | H21.１.16 |

①秋田地区

②河辺地区

③雄和地区

第１図　試掘・確認調査位置図（１：100,000）

## 表２　立会調査一覧

| No, | 事　業　名 | 事 業 者 名 | 所　在　地 | 該当遺跡 | 申 請 日 | 対応分類 | 調 査 日 | 調査員 | 調査結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 公園整備 | 秋田市 | 千秋公園地内 | 久保田城跡 | H19.10.16 | 94条 | H19.12.10、12･12、H20.１.９、２.18 | 進藤 | 遺構・遺物なし |
| 2 | 側溝布設 | 秋田市 | 千秋矢留町地内 | 久保田城跡 | H19.９.10 | 94条 | H20.２.15 | 鎌田 | 遺構・遺物なし |
| 3 | 通信管埋設および電柱建替 | 東日本電信電話株式会社秋田支店、株式会社秋田ケーブルテレビ | 土崎港中央三、六丁目地内 | 湊城跡 | H20.１.23 | 93条 | H20.３.12 | 伊藤 | 遺構・遺物なし |
| 4 | 店舗建設 | 株式会社ＺＥＲＯコーポレーション | 土崎港南一丁目519板１ほか | 土崎湊御蔵跡 | H19.10.22 | 93条 | H20.３.19、３.25 | 進藤 | 遺構・遺物なし |
| 5 | 住宅建設 | 個人 | 土崎港中央五丁目110番２ほか | 湊城跡 | H20.２.25 | 93条 | H20.３.27 | 鎌田 | 遺構・遺物なし |
| 6 | 標柱設置 | 久保田城址歴史案内ボランティアの会 | 千秋公園地内 | 久保田城跡 | H20.３.24 | 93条 | H20.４.４ | 進藤 | 遺構・遺物なし |
| 7 | 住宅建設 | 個人 | 川尻大川町56番２ | 下タ野遺跡 | H20.４.17 | 93条 | H20.５.15 | 進藤 | 遺構・遺物なし |
| 8 | ガス管敷設 | 東部瓦斯株式会社秋田支社 | 土崎港中央三、五丁目地内 | 湊城跡 | H20.５.９ | 93条 | H20.５.21 | 伊藤 | 遺構・遺物なし |
| 9 | 住宅建築 | 個人 | 千秋北の丸７番39号 | 久保田城跡 | H20.４.７ | 93条 | H20.６.２ | 伊藤 | 遺構・遺物なし |
| 10 | 配水管布設替 | 秋田市 | 千秋城下町、千秋久保田町地内 | 久保田城跡 | H20.６.５ | 94条 | H20.６.23 | 鎌田<br>伊藤 | 遺構・遺物なし |
| 11 | 下水道管布設替 | 秋田市 | 新藤田字高梨台地内 | 高梨台遺跡 | H20.６.11 | 94条 | H20.６.26 | 西谷 | 遺構・遺物なし |
| 12 | 教化部会館新築 | 宗教法人生長の家秋田県教化部 | 千秋北の丸２番209 | 久保田城跡 | H20.４.30 | 93条 | H20.６.30 | 鎌田 | 遺構・遺物なし（H20年度に試掘調査を実施） |
| 13 | 下水道管布設替 | 秋田市 | 土崎港中央五丁目地内 | 湊城跡 | H20.６.11 | 94条 | H20.７.１ | 伊藤 | 遺構・遺物なし |
| 14 | 消防招魂碑修復 | 秋田県消防協会 | 千秋公園７番２号 | 久保田城跡 | H20.６.４ | 93条 | H20.７.17 | 伊藤 | 遺構・遺物なし |
| 15 | 住宅建築 | 個人 | 千秋北の丸２番213 | 久保田城跡 | H20.６.30 | 93条 | H20.７.18 | 鎌田 | 遺構・遺物なし |
| 16 | 下水道配管 | 個人 | 千秋城下町201－31 | 久保田城跡 | H20.７.22 | 93条 | H20.７.31 | 鎌田 | 遺構・遺物なし |
| 17 | 下水道管布設 | 秋田市 | 千秋久保田町地内 | 久保田城跡 | H20.６.11 | 94条 | H20.８.５、９.17、12.４、12.17、H21.２.26 | 鎌田 | 遺構・遺物なし |
| 18 | 住宅建築 | 個人 | 土崎港中央五丁目77－５ | 湊城跡 | H20.７.18 | 93条 | H20.８.19 | 鎌田<br>伊藤 | 遺構・遺物なし |
| 19 | 住宅建築 | 個人 | 千秋北の丸26番34 | 久保田城跡 | H20.７.29 | 93条 | H20.９.８ | 進藤 | 遺構・遺物なし |
| 20 | 住宅建築 | 個人 | 千秋北の丸２番104 | 久保田城跡 | H20.７.15 | 93条 | H20.９.９、11.12 | 進藤<br>伊藤 | 遺構・遺物なし |
| 21 | 配水管布設替 | 秋田市 | 千秋公園、千秋城下町地内 | 久保田城跡 | H20.７.23 | 94条 | H20.９.17 | 進藤 | 遺構・遺物なし |
| 22 | 道路拡幅整備、側溝布設 | 秋田市 | 河辺岩見字小平岱地内 | 下小平袋遺跡 | H20.７.28 | 94条 | H20.９.18 | 鎌田 | 遺構・遺物なし |
| 23 | 社宅解体 | 東日本旅客鉄道株式会社秋田支社 | 土崎港中央五丁目77－５ | 湊城跡 | H20.７.16 | 93条 | H20.９.24 | 西谷 | 遺構・遺物なし |
| 24 | 下水道管布設 | 秋田市 | 上北手猿田字四ツ小屋72－１ほか | 館ノ下遺跡 | H20.９.５ | 94条 | H20.10.６ | 進藤 | 遺構・遺物なし |
| 25 | 防災施設整備 | 久光エージェンシー株式会社 | 金足黒川字黒川135－３ほか | 黒川館 | H20.９.２ | 93条 | H20.10.16 | 安田<br>鎌田 | 遺構・遺物なし |
| 26 | 埋設ガス管取替 | 東部瓦斯株式会社秋田支社 | 千秋公園地内 | 久保田城跡 | H20.10.２ | 93条 | H20.11.17 | 進藤 | 遺構・遺物なし |
| 27 | 住宅建築 | 個人 | 土崎港中央五丁目242－26ほか | 湊城跡 | H20.10.17 | 93条 | H20.11.20 | 伊藤 | 遺構・遺物なし |
| 28 | 埋設ガス管取替 | 東部瓦斯株式会社秋田支社 | 千秋城下町１－22地内 | 久保田城跡 | H20.10.６ | 93条 | H20.11.25 | 鎌田 | 遺構・遺物なし |
| 29 | 共同住宅増築 | 個人 | 千秋城下町201番67 | 久保田城跡 | H20.10.３ | 93条 | H20.11.27 | 進藤 | 遺構・遺物なし |
| 30 | 水道管布設 | 秋田市 | 濁川字蟹子沢、森ヶ越地内 | 蟹子沢遺跡 | H20.７.25 | 94条 | H20.12.１・２ | 鎌田 | 遺構・遺物なし |
| 31 | 電柱建柱 | 東北電力株式会社秋田営業所 | 手形中台地内 | 中台遺跡 | H20.11.12 | 93条 | H20.12.４ | 鎌田<br>伊藤 | 遺構・遺物なし |
| 32 | 水道管布設 | 秋田市 | 金足高岡字狢沢地内 | 高岡館 | H20.11.11 | 94条 | H20.12.９ | 伊藤 | 遺構・遺物なし |
| 33 | 駅前広場周辺施設整備（駐輪場建設） | 秋田市 | 土崎港中央六丁目375－２の内ほか | 湊城跡 | H20.８.21 | 94条 | H20.12.15 | 進藤 | 遺構・遺物なし |
| 34 | 物置および車庫建築 | 有限会社加賀谷新聞店 | 土崎港中央六丁目84ほか | 湊城跡 | H20.11.14 | 93条 | H20.12.16 | 進藤 | 遺構・遺物なし |
| 35 | 配水管布設替 | 秋田市 | 千秋城下町５番地内 | 久保田城跡 | H20.７.９ | 94条 | H20.12.17 | 鎌田 | 遺構・遺物なし |
| 36 | 下水道管布設 | 秋田市 | 浜田字宮田沢地内 | 宮田沢Ⅰ遺跡 | H20.９.16 | 94条 | H21.１.22 | 鎌田 | 遺構・遺物なし |
| 37 | 通信管理設および電柱建替 | 東日本電信電話株式会社秋田支店 | 土崎港中央五丁目２－７ほか | 湊城跡 | H20.９.16 | 93条 | H21.１.22 | 鎌田 | 遺構・遺物なし |
| 38 | 下水道用塩化ビニル管埋設 | 秋田市 | 金足堀内字堀内、神田地内 | 堀内館 | H20.10.22 | 94条 | H21.１.28 | 鎌田 | 遺構・遺物なし |

## 表３　発掘調査一覧

| No, | 事　業　名 | 事 業 者 名 | 所　在　地 | 該当遺跡 | 申 請 日 | 対応分類 | 調 査 日 | 調査主務者 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 経営体育成基盤整備 | 秋田県秋田地域振興局 | 雄和相川字下野、河原崎地内 | 下野遺跡 | H20.４.15 | 94条 | H20.５.20～８.29 | 進藤 |
| 2 | 駅前広場整備 | 秋田市道路建設課 | 土崎港中央六丁目地内 | 湊城跡 | H20.４.26 | 94条 | H20.９.1～10.８ | 伊藤 |
| 3 | 確認調査 | 秋田市公園課 | 千秋公園地内 | 久保田城跡 | H20.９.10 | 99条 | H20.10.14～12.10 | 西谷 |

## 表４　分布調査一覧

| No, | 事　業　名 | 事 業 者 名 | 所　在　地 | 申 請 日 | 対応分類 | 調 査 日 | 調 査 員 | 調査結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 分譲宅地 | 三光不動産株式会社 | 東通館ノ越22番１ほか | H20.４.１ | 開発事前協議 | H20.４.４ | 進藤 | 遺跡なし |
| 2 | 無線基地局建設 | 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ東北 | 雄和女米木字石川254番24の内 | H20.４.９ | 事前調査依頼 | H20.４.18 | 進藤 | 遺跡なし |
| 3 | 分譲宅地 | 東北ミサワホーム株式会社 | 新屋松美町165番121 | H20.４.21 | 開発事前協議 | H20.４.23 | 安田・鎌田 | 遺跡なし |
| 4 | 社会福祉施設建設 | 社会福祉法人桜丘会 | 八橋イサノ一丁目196番の内ほか | H20.５.14 | 開発事前協議 | H20.５.20 | 西谷・伊藤 | 遺跡なし |
| 5 | 分譲宅地 | 積和不動産東北株式会社 | 高陽青柳町183番１ほか | H20.５.28 | 開発事前協議 | H20.６.２ | 西谷・鎌田 | 遺跡なし |
| 6 | 分譲宅地 | 有限会社新和不動産 | 四ツ小屋字中野67番１ほか | H20.６.10 | 開発事前協議 | H20.６.12 | 伊藤 | 遺跡なし |
| 7 | 分譲宅地 | 三光不動産株式会社 | 土崎港東四丁目10番18ほか | H20.７.16 | 開発事前協議 | H20.７.24 | 安田・鎌田 | 遺跡なし |
| 8 | ガソリンスタンド建設 | 株式会社 JA 新あきたライフサービス | 外旭川字神田608番38ほか | H20.８.11 | 開発事前協議 | H20.８.19 | 安田・鎌田 | 遺跡なし |
| 9 | 無線基地局建設 | イー・モバイル株式会社 | 雄和女米木字高麓沢76番17 | H20.８.18 | 事前調査依頼 | H20.９.11 | 進藤 | 遺跡なし |
| 10 | 分譲宅地 | 有限会社ソピアホーム | 土崎港北四丁目207番119ほか | H20.９.９ | 開発事前協議 | H20.９.17 | 安田・鎌田 | 遺跡なし |
| 11 | 地区集会所建設 | 中野上町内会 | 下新城中野字街道端西29番５ | H20.９.11 | 開発事前協議 | H20.９.17 | 安田・鎌田 | 遺跡なし |
| 12 | 共同住宅建設 | 個人 | 外旭川字野村186番２ほか | H20.９.17 | 開発事前協議 | H20.９.19 | 進藤 | 遺跡なし |
| 13 | 店舗建設 | 株式会社Ｓ．Ｐ．Ａ． | 広面字堤敷34番１ほか | H20.９.25 | 開発事前協議 | H20.９.25 | 進藤 | 遺跡なし |
| 14 | 分譲宅地 | 大和ハウス工業株式会社秋田支店支 | 川元山下町77番１の内 | H20.10.14 | 開発事前協議 | H20.10.15 | 鎌田・伊藤 | 遺跡なし |
| 15 | ＰＨＳ基地局 | サンワコムシスエンジニアリング | 将軍野南一丁目161番３ | H20.10.７ | 事前調査依頼 | H20.11.７ | 進藤 | 遺跡なし |
| 16 | 分譲宅地 | 株式会社アクネス不動産 | 御所野堤台二丁目６番１の内ほか | H20.11.５ | 開発事前協議 | H20.11.10 | 進藤・鎌田 | 遺跡なし |
| 17 | 分譲宅地 | 共和ホーム株式会社 | 仁井田字西潟敷17番 | H20.11.11 | 開発事前協議 | H20.11.17 | 進藤 | 遺跡なし |
| 18 | 分譲宅地 | 有限会社三陽地所 | 牛島西三丁目290番８ほか | H21.１.14 | 開発事前協議 | H21.１.16 | 西谷・鎌田 | 遺跡なし |
| 19 | 店舗建設 | ホーマック株式会社 | 広面字鍋沼59番１の内ほか | H21.１.23 | 開発事前協議 | H21.１.29 | 伊藤 | 遺跡なし |
| 20 | 店舗建設 | 株式会社秋田フードセンター | 秋田市土崎港北三丁目79番１ほか | H21.２.12 | 開発事前協議 | H21.２.19 | 鎌田・伊藤 | 遺跡なし |

# 第２章　調査の記録

## 平成19年度調査未報告分

### １　秋田手形中台ＩＭＴ基地局建物設備工事

１　**調 査 地**　　秋田市手形字中台59番２の内

２　**調査期日**　　平成20年３月６日

３　**調査面積**　　37.8㎡（調査対象面積554.8㎡）

４　**起因事業**　　無線基地局建設工事

５　**調査に至る経緯**

株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ東北は、手形字中台に無線基地局建設工事を予定していることから、秋田市教育委員会との間で開発に伴う事前協議を行った。協議の結果、平成20年２月25日付けで埋蔵文化財事前調査の依頼があった。分布調査による現況確認の結果、工事予定地の周辺に遺跡が存在することや、地形等から遺跡存在の可能性があると判断したので試掘調査を実施した。

６　**立地と現況**

調査地は秋田市街地の東側にある手形山西側の台地上に位置する（第２図）。現況は山林で、標高は約56ｍである。当該地の南東約40ｍには大松沢Ⅱ遺跡（中世）、さらに約300ｍには手形山南遺跡（平安）、北西約300ｍには高梨台遺跡（縄文）、北東約150ｍには大松沢Ⅰ遺跡（縄文・平安）など多くの遺跡が所在する。

７　**調査の概要および結果**

調査は、工事予定地に幅1.8ｍのトレンチを３本設定して、バックホーで試掘し、遺構・遺物の有無を確認した。（第３図）

**(1) 層序**

調査地の基本層序は下記のとおりである。

第Ⅰ層　黒色土（表土、10～12㎝）

第Ⅱ層　黒褐色土（10～15㎝）

第Ⅲ層　にぶい黄褐色土（15～20㎝）

第Ⅳ層　褐色粘土（10～20㎝）

第Ⅴ層　明黄褐色土（地山、30～38㎝）

第Ⅵ層　明褐色土（地山、35㎝）

第Ⅶ層　明褐色土が混じる明黄褐色粘土（地山、10㎝）

第Ⅷ層　明黄褐色粘土（地山、10㎝以上）

なお、第Ⅵ～Ⅷ層は第１トレンチ中央部の深掘りによるものである。

**(2) 検出遺構と出土遺物**

遺構は、第１トレンチ西側の第Ⅴ層地山面で縄文時代中期末の竪穴住居跡が１軒発見された。プランは径2.4ｍの円形を呈し、確認面からの深さは約25㎝で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。

遺物は、住居跡に布設された炉や埋土から、縄文時代中期末の土器が出土した。なお、第２、３トレンチでは遺構・遺物は発見されなかった。

### (3) 所見

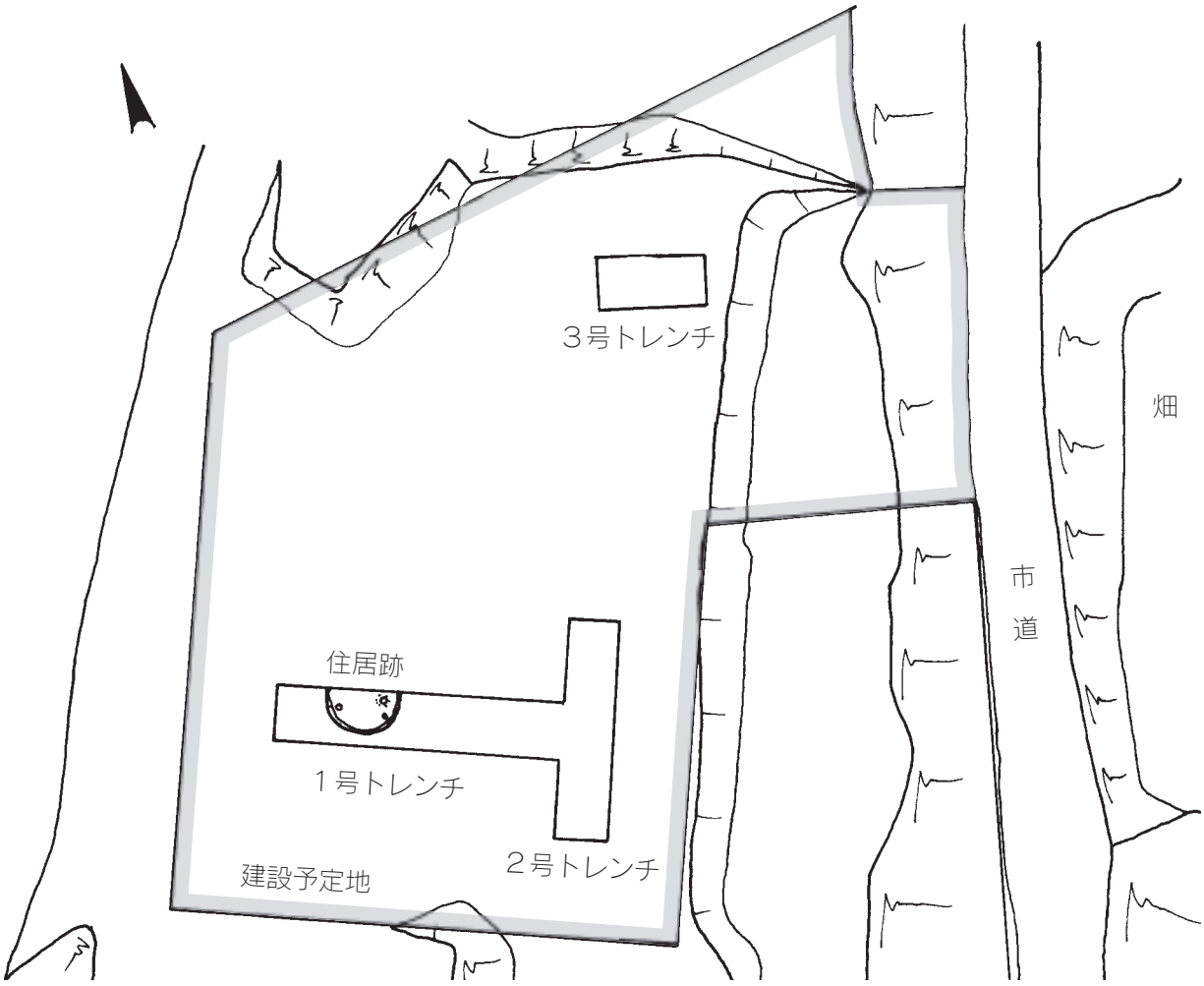
調査地は手形山丘陵の南西部に位置する大松沢Ⅱ遺跡の隣接地で、周辺には高梨台遺跡や手形山南遺跡が所在する。調査の結果、第１トレンチから縄文時代中期末の住居跡が発見されたことから、事業予定地南部から北側にかけて、縄文時代中期末の遺構が広がっている可能性がある。

調査地において上記の遺構・遺物が確認されたことから、新発見の縄文時代中期末の遺跡「中台遺跡」として新たに登録した。

そこで、埋蔵文化財に影響のないように設計変更を行って遺構を保護することにした。

（調査担当：安田・西谷・進藤・鎌田・伊藤）

第２図　中台遺跡調査位置図（１：2,500）




**第３図　中台遺跡調査地平面図**

調査地全景（南東から）

１号トレンチ調査状況（東から）

１号トレンチ調査状況（西から）

住居跡土層断面（南から）

**写真１　中台遺跡調査状況**

## ２　ｅＭ秋田雄和椿川局新設工事

１　**調 査 地**　　秋田市河辺戸島字北ノ沢駒坂台60番１

２　**調査期日**　　平成20年３月14日

３　**調査面積**　　32.6㎡（調査対象面積 150㎡）

４　**起因事業**　　無線基地局建設工事

５　**調査に至る経緯**

イー・モバイル株式会社は、河辺戸島字北ノ沢駒坂台に無線基地局建設工事を予定していることから、秋田市教育委員会との間で開発に伴う事前協議を行った。協議の結果、平成20年２月５日付けで埋蔵文化財事前調査の依頼があった。分布調査による現況確認の結果、工事予定地には周辺に遺跡が存在することや、地形等から遺跡存在の可能性があると判断したので試掘調査を実施した。

６　**立地と現況**

調査地は秋田市の南部、安養寺川右岸の段丘に位置する（第４図）。現況は原野で、標高は約51ｍである。当該地の南西約300～400ｍには駒坂岱Ⅰ遺跡（縄文）・駒坂岱Ⅱ遺跡（縄文）が所在することから、遺跡が存在する可能性がある地域である。

７　**調査の概要および結果**

調査は、工事予定地に幅２ｍのトレンチを２本設定して、バックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した。結果、遺構および遺物は発見されなかった。

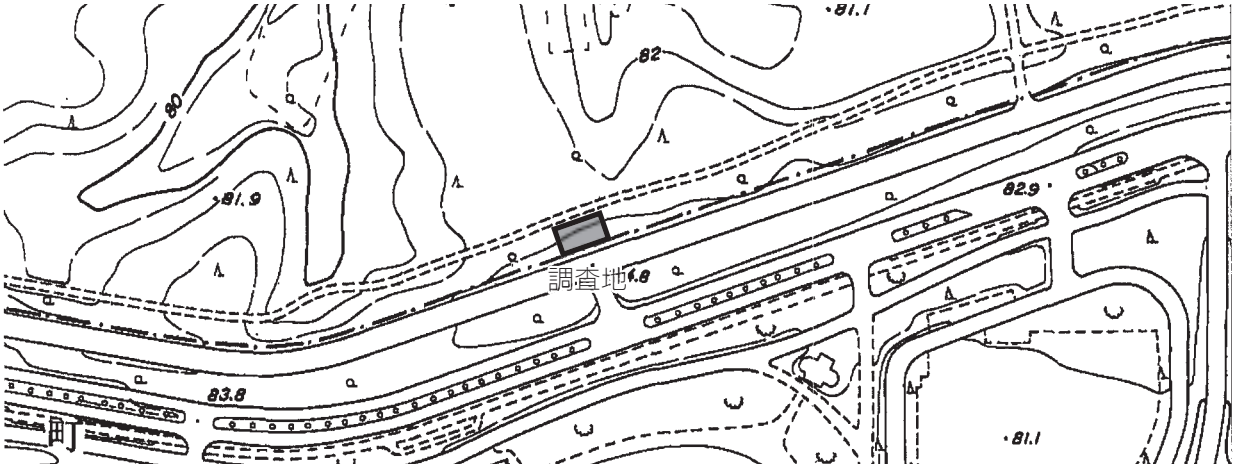
(1) 層序

調査地の基本層序は、第Ⅰ層　暗褐色土（表土、25～35㎝）、第Ⅱ層　暗褐色土（20～30㎝）、第Ⅲ層　明褐色粘土の混じる暗褐色土（漸移層、20～40㎝）、第Ⅳ層　明褐色粘土（地山、40～50㎝）、第Ⅴ層　灰黄褐色粘土（地山、120㎝以上）となっている。

(2) 所見

遺跡は存在しないと判断した。

（調査担当：安田・進藤・鎌田）




第４図　河辺戸島字北ノ沢駒坂台地区無線基地局建設工事予定地調査位置図（１：2,500）

## ３　秋田都市計画道路事業（土崎駅前線）（湊城跡）

１　**調 査 地**　　秋田市土崎港中央六丁目地内

２　**調査期日**　　平成20年３月18日

３　**調査面積**　　44㎡（調査対象面積 934㎡）

４　**起因事業**　　道路建設工事

５　**調査に至る経緯**

秋田市建設部道路建設課は、湊城跡が所在する秋田市土崎港中央六丁目地内に秋田都市計画道路事業土崎駅前線を予定していることから、平成19年12月21日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。これを受けて、秋田市教育委員会は分布調査による現況確認と試掘による範囲確認調査を実施した。

６　**立地と現況**

調査地は、秋田市の北部、旧雄物川右岸に位置する湊城跡（中世・近世）内で、標高５～６ｍの地点である（第５図）。現況は鉄道用地である。また、当該地は湊城跡の内堀外側の近接地に位置していると考えられる。

７　**調査の概要および結果**

調査は、工事予定地に幅２ｍのトレンチを４本設定して、バックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した（第６図）。

(1) 層序

【１号トレンチ】

第Ⅰ－ａ層　黒色土（表土、30～44㎝）

第Ⅱ層　　黒色砂に炭カラが混じる（近代造成土、90～100㎝）

第Ⅲ－ａ層　暗灰色砂（29～33㎝）

第Ⅵ層　　にぶい黄色砂（地山、25㎝以上）

【２号トレンチ】

第Ⅰ－ａ層　黒色土（表土、35㎝）

第Ⅱ層　　黒色砂に炭カラ、ゴミが混じる（近代造成土、75㎝）

第Ⅲ－ｂ層　暗褐色砂に砂利、炭化物、焼土が混じる（近代造成土、25～40㎝）

第Ⅴ層　　褐灰色砂（遺物包含層、20㎝）

第Ⅵ層　　明黄褐色砂（地山）

【３号トレンチ】

第Ⅰ－ｂ層　褐灰色砂（砕石敷き、表土、16㎝）

第Ⅰ－ｃ層　褐色砂に砕石が混じる（表土、24㎝）

第Ⅱ層　　黒色砂に炭カラが混じる（近代造成土、35～50㎝）

第Ⅲ－ｂ層　暗褐色砂に礫が混じる（近代造成土、10～20㎝）

第Ⅳ層　　褐色砂　20㎝

第Ⅴ層　　褐灰色砂（遺物包含層、20㎝）

第Ⅵ層　　明黄褐色砂（地山）

【４号トレンチ】

第Ⅰ－ｂ層　褐灰色砂（砕石敷き、表土、20㎝）

第Ⅰ－ｃ層　褐色砂に砕石が混じる（表土、30㎝）

第Ⅱ層　　黒色砂に炭カラが混じる（近代造成土、20㎝）

第Ⅲ－ｂ層　暗褐色砂に礫が混じる（近代造成土、28㎝）

第Ⅳ層　　褐色砂　18㎝

第Ⅴ層　　褐灰色砂（遺物包含層、15㎝）

第Ⅵ層　　明黄褐色砂（地山、５㎝以上）

**(2) 検出遺構と出土遺物**

遺構は２、４号トレンチにおいて確認された。

２号トレンチの第５層で溝跡１条が確認され。

４号トレンチでは、溝跡１条が確認された。溝跡は、２号トレンチの溝跡と同一方向に延び、ともに第Ⅵ層を掘り込んでいることから同一のものと考えられる。

出土遺物は、陶磁器・金属製品などが発見された。２、４号トレンチの第Ⅴ層および２号トレンチの遺構内において、肥前系陶磁器（18～19世紀）が出土した。

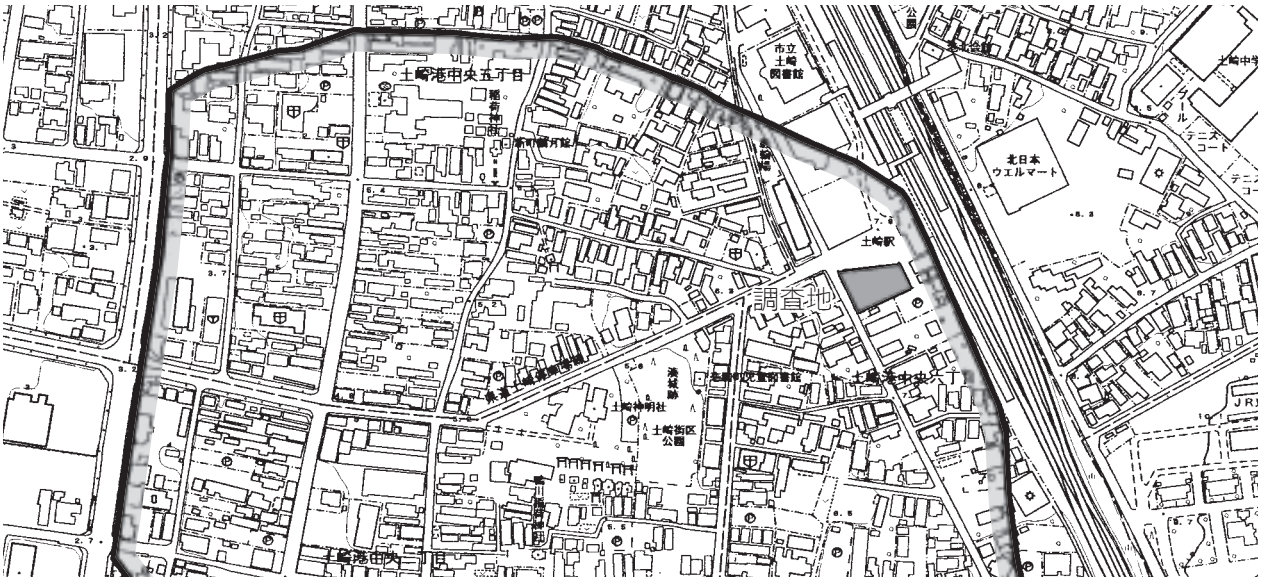
**(3) 所見**

１、３号トレンチでは、コンクリート基礎などが埋設されており、かなり撹乱を受けている。

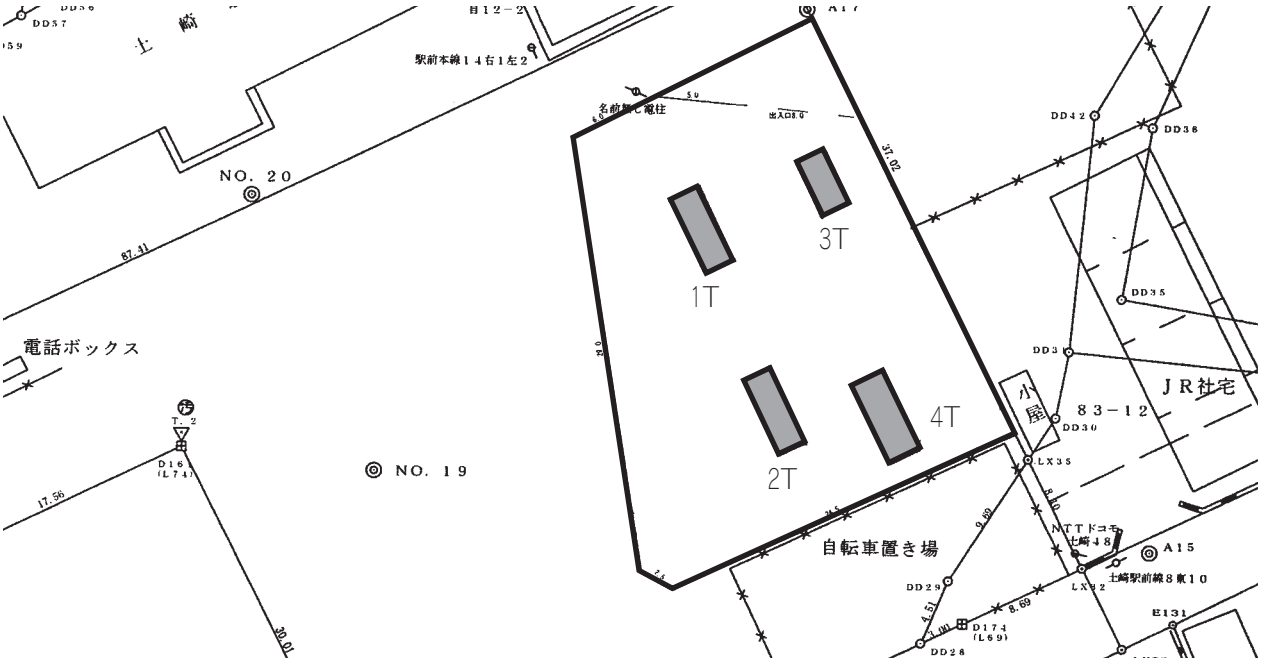
２、４号トレンチでは、第Ⅴ層とした近世整地層が確認され、出土遺物から江戸時代中期から後期と考えられる。第Ⅵ層は、層位的に江戸時代前期以前であるが、出土遺物がないことから時期を特定できないものの、中世の可能性がある遺構（溝跡）が検出されている。なお、周辺の調査（土崎神明社境内地の発掘調査）で第Ⅴ層（地山飛砂層）検出の遺構埋土より織豊期にさかのぼる遺物（古染付、京都系手づくねかわらけなど）が出土していることから、同時代の遺構の可能性が高い。

以上のように、調査地からは、江戸時代の遺構・遺物および中世（織豊期）の可能性がある遺構が発見されたことから、埋蔵文化財保護の協議を進めている。

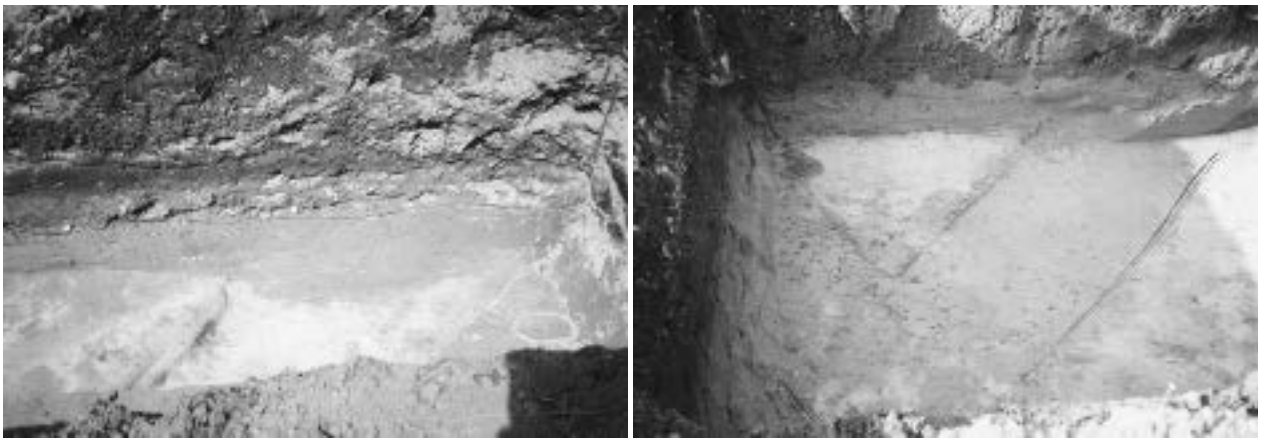
（調査担当：安田・西谷・伊藤）




第５図　湊城跡調査位置図（１：5,000）




第６図　湊城跡調査トレンチ配置図（１：500）



溝跡断面（南から）　　第４トレンチ平面（南から）

写真２　湊城跡調査状況

## 平成20年度調査

### ４　宗教法人生長の家教化部会館新築事業（久保田城跡）

１　**調 査 地**　　秋田市千秋北の丸２番209地内

２　**調査期日**　　平成20年５月23日

３　**調査面積**　　98㎡（調査対象面積 1,997.53㎡）

４　**起因事業**　　宗教法人会館新築工事

５　**調査に至る経緯**

宗教法人生長の家秋田県教化部は、久保田城跡が所在する千秋北の丸に教化部会館新築工事を予定していることから、秋田市教育委員会との間で開発に伴う事前協議を行った。協議の結果、平成20年５月13日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。これを受けて秋田市教育委員会は、分布調査による現況確認と試掘による範囲確認調査を実施した。

６　**立地と現況**

調査地は秋田市の中央部、久保田城跡が所在する千秋公園台地の北側に位置する（第７図）。現況は宅地で、標高は26ｍである。当該地は久保田城北の丸跡に位置し、大木屋であった場所であり藩政期の建物跡等が存在する可能性がある地域である。

７　**調査の概要および結果**

調査地に幅２ｍのトレンチを３本設定して、バックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した。結果、遺構および遺物は発見されなかった。

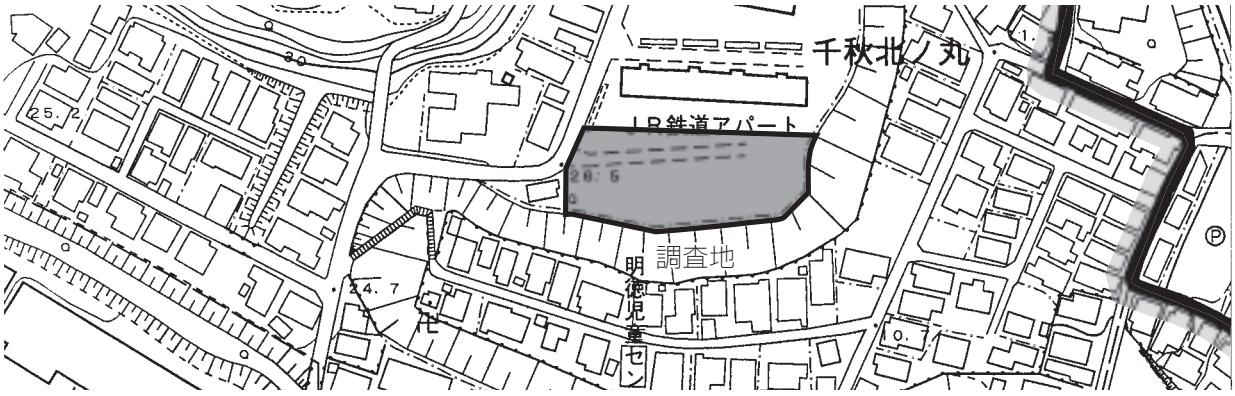
(1) 層序

調査地の基本層序は、第Ⅰ層　褐色砂（表土、造成土、20～60㎝）、第Ⅱ層　砕石が多量に混じる暗褐色土（造成土、20～100㎝）、第Ⅲ層　明黄褐色粘土が混じる褐灰色粘土（造成土、５～110㎝以上）、第Ⅳ層　明黄褐色粘土（地山、20～40㎝以上）となっている。

(2) 所見

調査地は、久保田城跡内であるが、すでに掘削されている場所であり、遺構は存在しないと判断した。

（調査担当：西谷・鎌田）




第７図　久保田城跡調査位置図（１：2,500）

## ５　秋田市新屋栗田町宅地造成工事

１　**調 査 地**　　秋田市新屋栗田町217番１、227番２・17・22

２　**調査期日**　　平成20年９月18日

３　**調査面積**　　143㎡（調査対象面積2,356.95㎡）

４　**起因事業**　　宅地造成工事

５　**調査に至る経緯**

株式会社プライムハウスは、新屋栗田町に宅地造成工事を予定していることから、秋田市教育委員会との間で開発に伴う事前協議を行った。協議の結果、平成20年８月21日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財の事前調査依頼があった。分布調査による現況確認の結果、工事予定地には周辺に遺跡が存在することや、地形等から遺跡存在の可能性があると判断したので試掘調査を実施した。

６　**立地と現況**

調査地は秋田市の中央部、雄物川左岸の砂丘地に位置する。現況は宅地で、標高は26～28ｍである（第８図）。当該地の周辺には新屋浜古墳（奈良・平安）や新屋浜貝塚（縄文）が所在していたことから、遺跡が存在する可能性がある地域である。

７　**調査の概要および結果**

調査は、工事予定地に幅２ｍのトレンチを４本設定して、バックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した。結果、遺構および遺物は発見されなかった。

(1) 層序

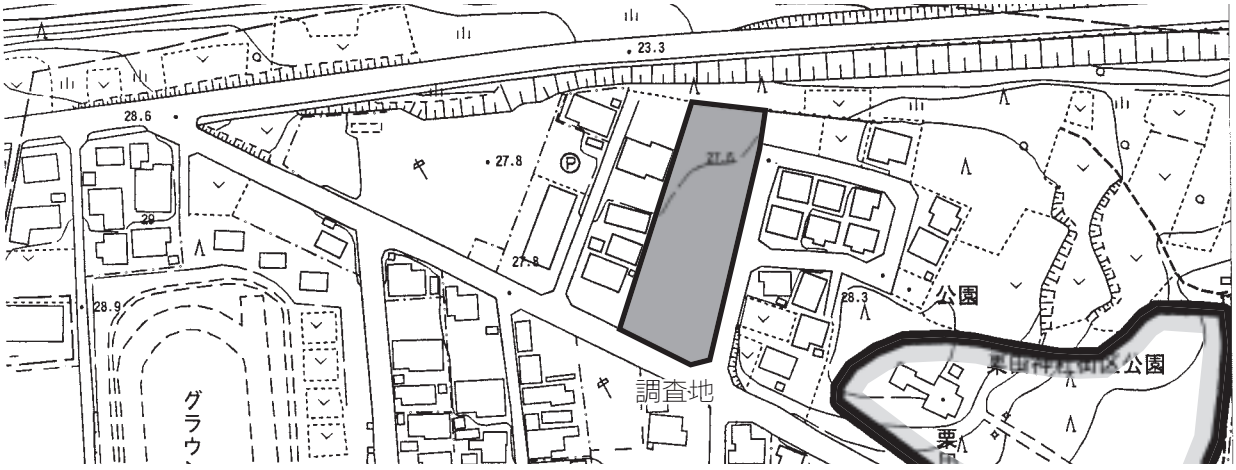
調査地の基本層序は、第Ⅰ層　褐色砂（表土・造成土、20～40㎝）、第Ⅱ層　砂利・礫が混じる暗褐色土または明褐色土（造成土、20～25㎝）、第Ⅲ層　廃棄物や暗褐色砂が混じる明黄褐色砂（造成土、25～60㎝以上）、第Ⅳ層　明黄褐色砂（飛砂、20～45㎝以上）となっている。

第Ⅱ層は２、３号トレンチで確認された。

(2) 所見

遺跡は存在しないと判断した。

（調査担当：安田・進藤）




第８図　新屋栗田町地区宅地造成工事予定地調査位置図（１：2,500）

## 6　秋田市長岡基地局新設事業

**1　調 査 地**　　秋田市下新城中野字街道端西241番128地内

**2　調査期日**　　平成20年２月20日

**3　調査面積**　　19㎡（調査対象面積 100.00㎡）

**4　起因事業**　　無線基地局建設工事

**5　調査に至る経緯**

イー・モバイル株式会社は、下新城中野字街道端西に無線基地局建設工事を予定していることから、秋田市教育委員会との間で開発に伴う事前協議を行った。協議の結果、平成20年９月11日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財の事前調査依頼があった。分布調査による現況確認の結果、地形等から遺跡存在の可能性があると判断したので試掘調査を実施した。

**6　立地と現況**

調査地は奥羽本線追分駅の南西約650ｍの秋田砂丘に位置する（第９図）。現況は山林で、標高40ｍである。

**7　調査の概要および結果**

調査は、工事予定地に幅２ｍと１ｍのトレンチをそれぞれ１本設定して、バックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した。結果、遺構および遺物は発見されなかった。

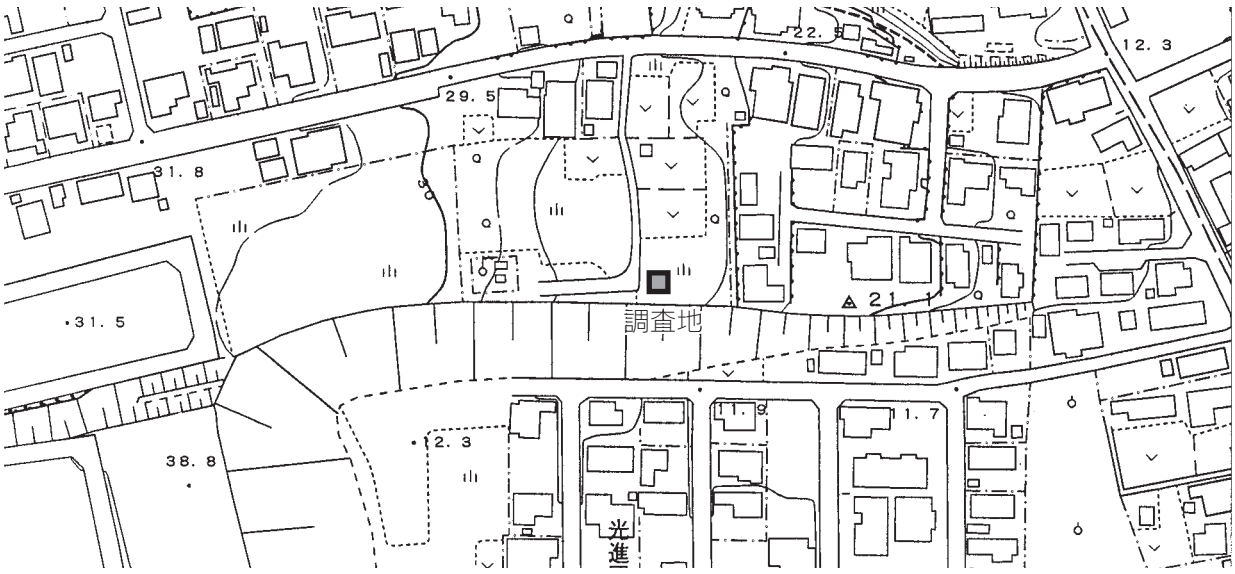
**(1) 層序**

調査地の基本層序は、第Ⅰ層　暗褐色砂（表土、10㎝）、第Ⅱ層　明黄褐色砂（飛砂、90㎝以上）となっている。

**(2) 所見**

遺跡は存在しないと判断した。

（調査担当：安田・鎌田）




**第９図　下新城中野地区無線基地局建設工事予定地調査位置図（１：2,500）**

## ７　救護施設玉葉荘改築工事（向野遺跡）

１　**調 査 地**　　秋田市雄和向野字吹欠下16番、16番１、17番、18番、19番、36番２

２　**調査期日**　　平成20年11月11日～14日

３　**調査面積**　　438㎡（調査対象面積 18,014㎡）

４　**起因事業**　　救護施建設工事

５　**調査に至る経緯**

社会福祉法人秋田県厚生協会は、向野遺跡が所在する雄和向野字吹欠下地区に救護施設建設工事を予定していることから、秋田市教育委員会との間で開発に伴う事前協議を行った。協議の結果、平成20年10月22日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財の事前調査依頼があった。これを受けて秋田市教育委員会は、分布調査による現況確認と試掘による範囲確認調査を実施した。

６　**立地と現況**

調査地は秋田市の南部、雄物川左岸の河岸段丘に位置する（第10図）。現況はグラウンドおよび原野で、標高は約26ｍである。

７　**調査の概要および結果**

調査は、工事予定地に幅1.8ｍのトレンチを30本設定して、バックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した。結果、遺構および遺物は発見されなかった。

**(1) 層序**

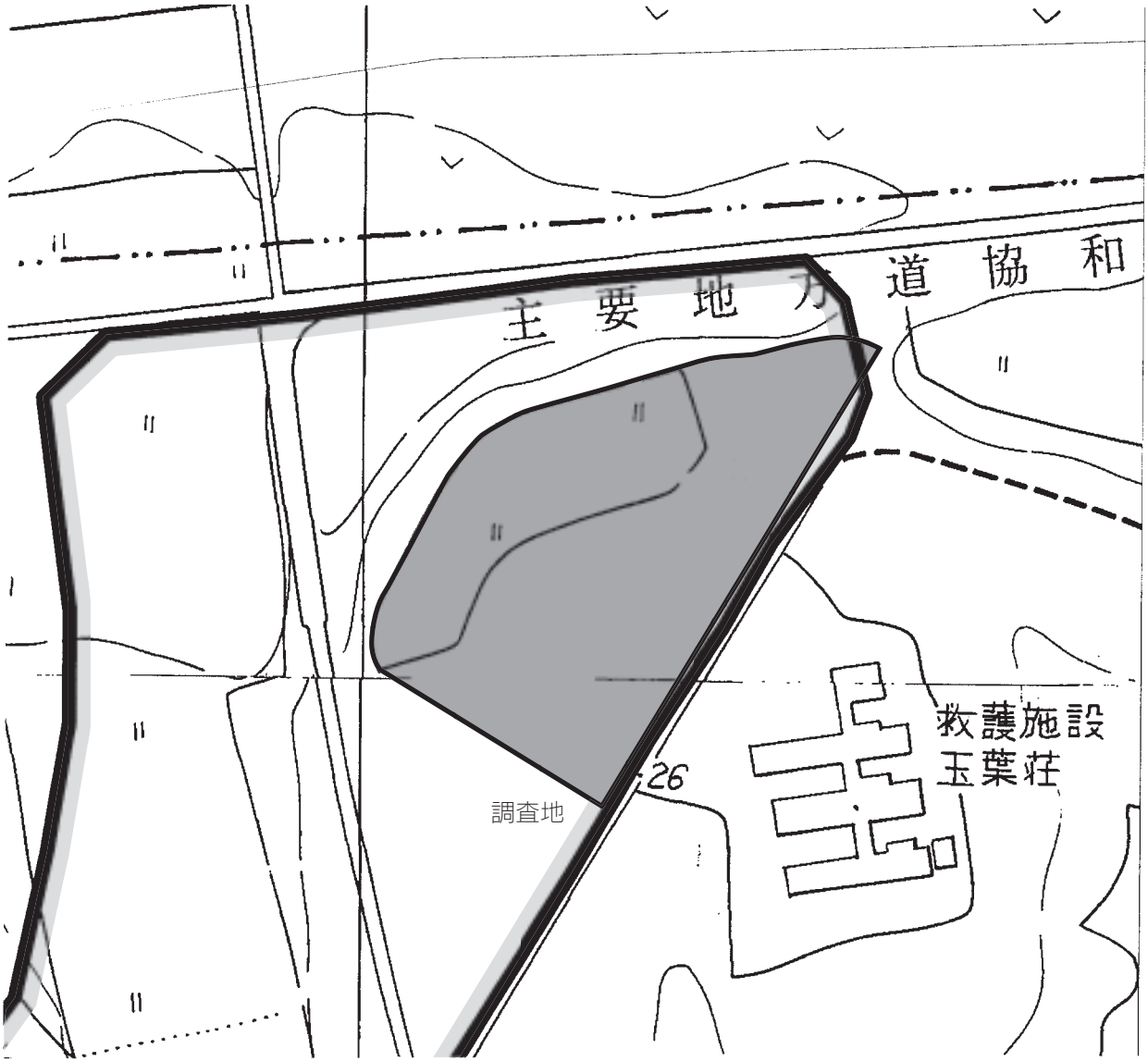
調査地の基本層序は、第Ⅰ層　暗褐色土（表土、造成土、10～40㎝）、第Ⅱ層　礫が混じる暗褐色土または黄褐色土（造成土、20～25㎝）、第Ⅲ層　褐灰色粘土（15～40㎝）、第Ⅳ層　灰褐色粘土（15～60㎝）、第Ⅴ層　青灰色または灰白色粘土（20～50㎝）、第Ⅵ層　礫が混じる青灰色または灰白色砂（地山、５～30㎝以上）となっている。

調査地東側では第Ⅱ層の下に第Ⅱ’層　礫・青灰色または褐灰色粘土ブロックが混じる暗褐色土（造成土、25～60㎝以上）が確認された。また、調査地東側では第Ⅱ層が堆積していない箇所や第Ⅲ層または第Ⅳ層の下に植物遺体が多量に混じる極赤褐色土が堆積している箇所が確認された。

**(2) 所見**

調査地の旧地形は湿地だったと考えられ、事業実施時の掘削の影響範囲には遺構・遺物が存在しないことが判明した。

（調査担当：安田・進藤・鎌田）




第10図　向野遺跡調査地位置図（１：2,500）

## ８　秋田駅東第三地区土地区画整理事業

１　**調 査 地**　　秋田市手形字山崎地内

２　**調査期日**　　平成20年12月２日

３　**調査面積**　　41.4㎡（調査対象面積 480.63㎡）

４　**起因事業**　　道路建設工事

５　**調査に至る経緯**

秋田市都市整備部秋田駅東地区土地区画整理工事事務所は、手形字山崎地内に道路建設工事を予定していることから、秋田市教育委員会との間で開発に伴う事前協議を行った。協議の結果、平成20年７月28日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。分布調査による現況確認の結果、遺跡存在の可能性があると判断したので試掘調査を実施した。

６　**立地と現況**

調査地は、秋田市の中央部、旭川左岸の沖積低地に位置する（第11図）。現況は宅地で、標高は７ｍである。当該地の約250ｍ西側には久保田城跡（近世）が所在していたことや、久保田城下町（内町）の北東部、旧手形新町に位置し、江戸時代の絵図によると侍屋敷であった場所であることから、遺跡が存在する可能性がある地域である。

７　**調査の概要および結果**

調査は、工事予定地に幅２ｍのトレンチを２本設定して、バックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した。

**(1) 層序**

調査地の基本層序は、第Ⅰ層　黄褐色砂・砕石・砂利が混じる暗褐色土（表土、造成土、40～45㎝）、第Ⅱ層　暗灰褐色粘土（造成土、20～50㎝）、第Ⅲ層　植物遺体が混じる灰褐色粘土（造成土、25～30㎝）、第Ⅳ層　極暗赤褐色土（植物遺体層、20～35㎝）、第Ⅴ層　植物遺体が混じる青灰色粘土（地山、５～40㎝以上）となっている。

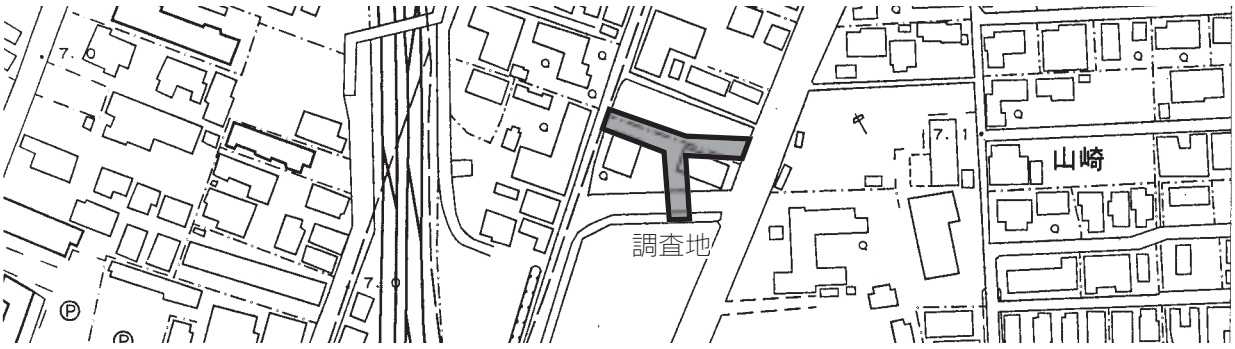
**(2) 検出遺構と出土遺物**

遺構は発見されなかった。なお、近・現代の造成土から陶磁器片が数点発見された。

**(3) 所見**

調査地は江戸時代の絵図によると侍屋敷であったが、調査の結果、それに関連する遺構や近世の整地層は発見されず、後世の開発時に削平されたと考えられる。また、近世以前は湿地だったと考えられる。

（調査担当：進藤・伊藤）




**第11図　手形字山崎地区道路建設工事予定地調査位置図（１：2,500）**

## ９　新屋比内町市営住宅建替事業

１　**調 査 地**　　秋田市新屋比内町143番４ほか

２　**調査期日**　　平成20年12月９日～16日

３　**調査面積**　　334.2㎡（調査対象面積 39,304.87㎡）

４　**起因事業**　　市営住宅建替工事

５　**調査に至る経緯**

秋田市都市整備部住宅整備課は、付近に遺跡が所在する新屋比内町に市営住宅建替工事を予定していることから、秋田市教育委員会との間で開発に伴う事前協議を行った。協議の結果、平成20年４月18日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。分布調査による現況確認の結果、工事予定地は周辺に遺跡が所在することや、地形等から遺跡存在の可能性があると判断したので試掘調査を実施した。

６　**立地と現況**

調査地は秋田市の西部、雄物川左岸の秋田砂丘に位置する（第12図）。現況は宅地で、標高は約53ｍである。平成19年度に当該地西側で実施した第Ⅰ期工事に伴う埋蔵文化財の事前発掘調査では遺構・遺物は発見されなかったが、当該地周辺の砂丘地東裾には宮田沢Ⅰ遺跡（平安）や宮田沢Ⅱ遺跡（縄文）、館ノ丸Ⅱ遺跡（縄文）が所在し、遺跡が存在する可能性がある地域である。

７　**調査の概要および結果**

調査地の第Ⅱ期分工事予定地に幅２ｍのトレンチを17本設定して、バックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した。結果、遺構および遺物は発見されなかった。

(1) 層序

基本層序は、第Ⅰ層　砂利・コンクリートが混じる暗褐色砂、黒褐色砂および黄褐色砂（表土、造成土、15～35㎝）、第Ⅱ層　拳大の玉石・鉄くず等が混じる黄褐色砂（造成土、20～50㎝）、第Ⅲ層　黄褐色砂（飛砂、30～140㎝）、第Ⅳ層　暗赤褐色粘質土（10～35㎝）、第Ⅴ層　礫が多量に混じる明褐色粘質土（地山、30～105㎝以上）となっている。第Ⅳ、Ⅴ層は、11、15、16号トレンチで確認された。

(2) 所見

遺跡は存在しないと判断した。

（調査担当：安田・進藤・鎌田・伊藤）

第12図　新屋比内町地区市営住宅建替予定地調査位置図（１：2,500）

## 10　都市計画道路秋田環状線道路新設工事

**1　調 査 地**　　秋田市楢山古川新町地内

**2　調査期日**　　平成21年１月16日

**3　調査面積**　　24㎡（調査対象面積 400㎡）

**4　起因事業**　　道路建設工事

**5　調査に至る経緯**

秋田市建設部道路建設課は、楢山古川新町地内に道路建設工事を予定していることから、秋田市教育委員会との間で開発に伴う事前協議を行った。協議の結果、平成20年12月26日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。分布調査による現況確認の結果、工事予定地は周辺に遺跡が存在することや、地形等から遺跡存在の可能性があると判断したので試掘調査を実施した。

**6　立地と現況**

調査地は、秋田市の中央部、太平川右岸の沖積低地に位置する（第13図）。現況は宅地で、標高は６ｍである。当該地は久保田城下町（内町）の南東部、楢山古川新町に位置し、江戸時代の絵図（寛保期ころ）によれば、梅津下屋敷であった場所で、蛇行していた太平川を利用して堀を巡らしていたと考えられる所であることから、遺跡が存在する可能性がある地域である。

**7　調査の概要および結果**

調査は、工事予定地に幅２ｍのトレンチを２本設定して、バックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した。結果、遺構および遺物は発見されなかった。

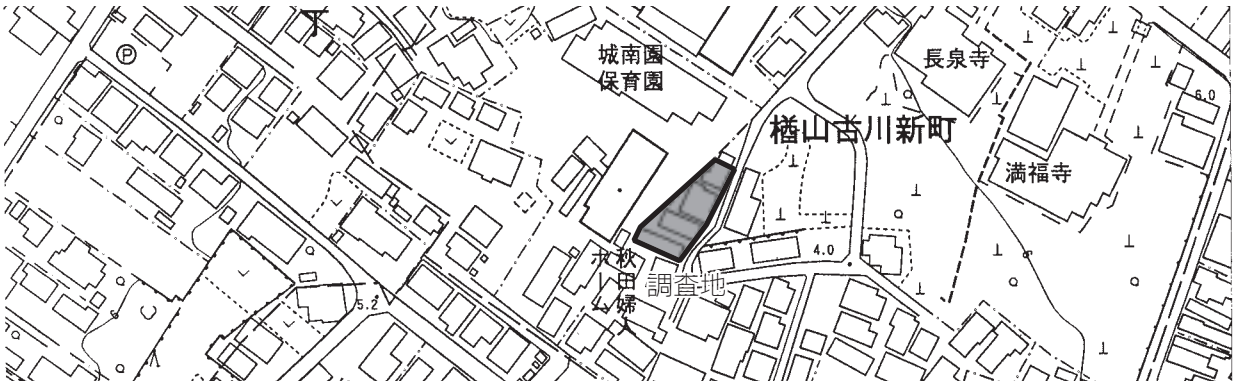
**(1) 層序**

調査地の基本層序は、第Ⅰ層　砕石が混じる暗褐色砂質土（表土、20～32㎝）、第Ⅱ層　にぶい黄褐色砂質土が混じる褐色砂質土（造成土、27～40㎝）、第Ⅲ層　褐色砂質土（造成土、15～39㎝）、第Ⅳ層　にぶい黄橙色砂質土が混じるにぶい黄褐色砂質土（造成土、20～88㎝）、第Ⅴ層　鉄分が混じる灰黄色砂質土（自然堆積土、95㎝）、第Ⅵ層　褐色砂（地山、15㎝以上）となっている。

**(2) 所見**

遺跡は存在しないと判断した。

（調査担当：西谷・鎌田）




**第13図　楢山古川新町地区道路建設工事予定地調査位置図（１：2,500）**

# 報　告　書　抄　録

| | |
|---|---|
| ふりがな | へいせいにじゅうねんど　あきたしいせきかくにんちょうさほうこくしょ |
| 書名 | 平成20年度　秋田市遺跡確認調査報告書 |
| 副書名 | |
| 巻次 | |
| シリーズ名 | |
| シリーズ番号 | |
| 編著者名 | 鎌　田　英　智 |
| 編集機関 | 秋田市教育委員会 |
| 所在地 | 〒010－0951　秋田県秋田市山王二丁目１番53号山王21ビル内<br>TEL 018－866－2246　FAX 018－866－2252 |
| 発行年月日 | 2009年３月 |

| 所収遺跡名（ふりがな） | 所在地（ふりがな） | コード 市町村 | コード 遺跡番号 | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積（m²） | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 中台（なかだい） | 手形字中台（てがたあざなかだい） | 05201 | — | 39度44分23秒 | 140度8分11秒 | 20080306 | 37.8 | 無線基地局建設工事 |
| 開発予定地 | 河辺戸島字北ノ沢駒坂台（かわべとしまあざきたのさわこまさかだい） | 05202 | — | 39度37分27秒 | 140度12分54秒 | 20080314 | 32.6 | 無線基地局建設工事 |
| 湊城跡（みなとじょうあと） | 土崎港中央六丁目（つちざきみなとちゅうおうろくちょうめ） | 05203 | 165 | 39度45分29秒 | 140度4分24秒 | 20080318 | 44.0 | 道路建設工事 |
| 久保田城跡（くぼたじょうあと） | 千秋北の丸（せんしゅうきたのまる） | 05204 | 217 | 39度43分31秒 | 140度7分34秒 | 20080523 | 98.0 | 会館新築工事 |
| 開発予定地 | 新屋栗田町（あらやくりたまち） | 05205 | — | 39度41分24秒 | 140度4分50秒 | 20080918 | 143.0 | 宅地造成工事 |
| 開発予定地 | 下新城中野字街道端西（しもしんじょうなかのあざかいどうばたにし） | 05206 | — | 39度48分17秒 | 140度3分17秒 | 20081003 | 19.0 | 無線基地局建設工事 |
| 向野（むかいの） | 雄和向野字吹欠下（ゆうわむかいのあざふかきした） | 05207 | — | 39度32分32秒 | 140度13分54秒 | 20081111～20081114 | 438.0 | 救護施設改築工事 |
| 開発予定地 | 手形字山崎（てがたあざやまざき） | 05208 | — | 39度43分18秒 | 140度7分50秒 | 20081202 | 41.4 | 道路建設工事 |
| 開発予定地 | 新屋比内町（あらやひないまち） | 05209 | — | 39度40分32秒 | 140度4分39秒 | 20081209～20081216 | 334.2 | 市営住宅建替工事 |
| 開発予定地 | 楢山古川新町（ならやまふるかわしんまち） | 05210 | — | 39度42分17秒 | 140度7分22秒 | 20090116 | 24.0 | 道路建設工事 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 中台 | 集落跡 | 縄文 | 竪穴住居跡 | 縄文土器 | |
| 湊城跡 | 城郭 | 中・近世 | 溝跡 | 陶磁器 | |
| 久保田城跡 | 城郭 | 近世 | | | 遺構・遺物なし |
| 向野 | 集落跡 | 縄文 | | | 遺構・遺物なし |

| | |
|---|---|
| 要約 | 上記の所収遺跡は、これまで発見されている遺跡と新たに発見された中台遺跡の概要である。<br>湊城跡は発掘調査を、中台遺跡は計画変更をして保護を講じた。 |

平成 20 年度
秋田市遺跡確認調査報告書

印刷・発行　平成21年３月
発　　行　秋田市教育委員会
〒010-0951
秋田市山王二丁目１番53号　山王21ビル内
TEL 018-866-2246　FAX 018-866-2252
印　　刷　秋田活版印刷株式会社